

**【取組み内容】**

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、以下の事業を展開します。

実施に当たっては学校等との連携を深めるとともに、第六次子ども読書活動推進計画の策定に向けて課題を整理していきます。

**■ 基本方針1 全ての子どもがあらゆる機会と場所において、自主的に読書活動ができる環境の充実  
・家庭読書の推進(通年)**

子どもは家庭での日常生活の中で読書に親しみ、学び、成長していきます。各家庭で子どもの手の届くところに本を置き、保護者も一緒になって読書を楽しみ、読み聞かせや読書が生活習慣のひとつとなることが家庭での大切な役割です。〔p41(1)〕

それには、読書手帳に本の感想やコメントを書くことが役立ちます。子どもが作者と対話し、感想を家族と話し合うことで、自分自身とも向き合う機会となり、より深い読書につながります。

事業の実施に当たっては、区立図書館や保育園、幼稚園、学童クラブ、学校などが情報共有しながら連携して、子どもと本との出会いや読みきかせを図るとともに、読書が子どもの成長に果たす意義を保護者に周知し、読書習慣の醸成と家庭読書の推進を図ります。〔p40、p57-⑩〕

**・子ども向け行事の開催(通年)**

工作会、科学あそび、映画会、人形劇会、インターネット等を活用した調べ学習講座や情報リテラシー講座(調べる学習コンクール事業として、例年各館で実施。)等を区立図書館で開催し、子どもたちや保護者の利用促進を図り、家庭読書の推進につなげます。〔p50-⑩〕

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、8月より小規模なイベントを試行し、10月からは外部講師や劇団による講演会や人形劇等を実施しています。

**・学校、子育て関係施設と区立図書館との連携推進(通年)**

**学校:**区立図書館見学会、学校への出張講座、職場体験の受入、新着図書情報の提供のほか朝読書や授業単元等資料の団体貸出を活用し連携を推進します。〔p50-⑪、p52-⑮〕実施に当たっては区立図書館と学校、学校図書館との意見交換会を開催し相互の連携を推進します。(p50-⑪)

また、特別な支援を要する障害のある子どもや外国語を母語とする子どもに対しては、学校と連携して個々の状況に応じた読書支援を検討していきます。〔p43(3)③、p67-⑥、P68-⑤〕

**子育て関係施設:**子ども総合センターや児童館等では、区立図書館の団体貸出を活用して、発達段階に応じた様々な図書を子どもに提供しています。また、区立図書館の出張お話し会等により、連携を推進します。〔p43(5)、p50-⑫〕

保健センターでは、乳幼児健康診査等(0歳児。3歳児)の際に、区立図書館が絵本を配布し(3歳児は図書館で配付)、地域ボランティアが読み聞かせを行っています。

現在、絵本の配布は継続していますが、読みきかせは新型コロナウイルス感染症対策のため休止し、令和3年度からの再開を目指しています。〔p43(5)②、p50〕

男女共同参画センターでは絵本や児童書も所蔵し、区立図書館の本も貸し出しています。

区立図書館の空白エリアのため、周辺地域の子どもたちの身近な読書の場として親しまれています。〔p43(5)③、p50-⑮〕

## ■ 基本方針2 全ての子どもに対する個々の状況に応じた読書活動の支援

### ・プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ講座の実施(年1回)

妊娠期のご家庭(プレママ・プレパパ)や乳幼児期の保護者を対象とし、専門講師が家庭での読み聞かせの楽しみ方や意義を周知し、本の読み方や選び方を体験する講座を開催します。

実施に当たっては、妊婦の健康面への配慮や関係機関との連携等、実施方法を十分に検討します。新型コロナウイルス感染症の状況から令和3年度からの実施とします〔p39-2(2)、p59-⑳〕

### ・推薦図書リスト「クローバー」(小学生向け)「Clover」(中学生向け)の発行(年1回配布)

毎年、区立図書館の司書が選定した推薦図書リストを区立小・中学校に配布しています。推薦図書は手に取り、その場で読めるよう図書館館内に展示しています。〔p63-㉓〕

### ・中・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携(年2回)

中・高校生等の区立図書館の利用促進のきっかけとなるよう読書イベントを開催します。実施に当たっては学校と連携して中・高校生等への読書支援を検討し、生徒に区立図書館の魅力を知ってもらい、読書への興味や区立図書館の利用増につなげます。〔p40-(3)、p66-㉔〕

### ・病院への団体貸出の実施(通年4か所)

区内4病院に2か月ごとに滅菌した本を配本し、入院中の子どもたちが読書に親しむ機会を提供しています。(国立国際医療研究センター、東京女子医大病院、東京医科大病院、\*東京山手メディカルセンター)\*令和2年9月から休止中。〔p67-㉕〕

## ■ 基本方針3 子ども読書活動推進の基盤整備

### ・団体貸出の充実(通年)

学校、幼稚園、保育園、子育て関係施設にこども図書館の団体貸出専用図書を配本車で届ける制度と上記施設や10名以上のグループに窓口で貸し出す制度があります。子どもたちの身近な場所で本とふれあう機会を提供するとともに、学校の授業に必要な資料を要望の都度、配本しています。(p71-㉖)

### ・新宿区子ども読書活動推進会議の開催(年3回)

有識者、PTA代表者、読みきかせ団体、区担当者を構成員とし、子ども読書活動の進捗を検証と意見聴取を行い、第五次新宿区子ども読書活動推進計画の事業を効果的に推進します(p71-㉗)

### ・読みきかせサポーター講習会(年1回) (p70-㉘)

子どもたちへの読み聞かせの機会を充実するため、図書館サポーターに読み聞かせ研修会を実施し、読みきかせの人材育成を図ります。サポーター同士の意見交換の場ともなっています。

【予算要求額：11,458千円】